

7 パフォーマンス指標および総括

(1)千代田図書館

項目	目標値	実績	総括	担当
1 出版産業関連				
出版社との情報交換会	年2回	年2回	4月は出版団体の希望をうけて図書館における出版連携の事例を紹介した。 3月は図書館の「選書」をテーマに、千代田図書館、他自治体図書館司書4人及び出版社3社の代表者3人によるパネルディスカッションを開催した。各図書館司書と出版社側が選書方法や情報発信等における工夫を語り、活発な意見交換が行われた。今後も継続していきたい。	企画
2. レファレンス・予約				
パスファインダーの新規作成	年3件	年3件	区の施策に関連した「認知症について調べる」、区ゆかりの文学者で没後100年を迎えた「夏目漱石について調べる」、区のイベント「猫まつり」に関連した「動物について調べる」の3件を作成した。	サービス
商用オンラインデータベースの利用件数	月450件	5,471件 月平均 456件	情報収集の一助として安定した提供と、効果的な利用法の紹介により、月平均およそ460件の利用がみられた。	サービス
情報探索講習会	年4回	年4回	館種による違いを踏まえた図書館の効率的な使い方講座、様々なツールを利用した戦前の新聞記事の探し方講座、小学校高学年から中学生を対象にした本探し講座、雑誌や雑誌記事の総合的な探し方講座を、職員が講師となって4回開催した。満足度は85%であった。内容や開催方法、回数などを精査しつつ、今後も利用者の情報探索に役立つ講習会を開催していきたい。	サービス
電話予約	年840冊	年903冊	受付冊数は前年度比96.9%。受付冊数には、予約専用電話の他に通常の外線電話による受付も含まれている。専用電話での受付は、四番町受取の利用者が圧倒的に多く、千代田以外の館でも電話予約の必要性を感じる。	サービス
電話レファレンス・メールレファレンス	年840件	年1,003件	レファレンスカウンターやフロアー、講習会などでの声掛け、広報を通じたサービスの利便性周知につとめた結果、前年度比114%の受付件数となった。	サービス
3. 児童サービス				
おはなし会・ブックスタート	年間30回	年間27回	おはなし会は、毎月第2木曜日の11:00～11:30に子ども室で開催した。職員による読み聞かせ、手遊びなどを行った。ブックスタートは、本年度から3～4ヵ月健診の実施回数増加(月1回→奇数月1回、偶数月2回)に伴い、実施日に千代田保健所に出向き、訪れる親子に絵本、図書館案内等の入ったブックスタートパックを配布した。今年度は558組の親子に配布した。	サービス
展示	年24回	年33回	季節歳時やその時々で話題となった出来事などをテーマに、関連本の展示を行った。	サービス

項目	目標値	実績	総括	担当
4. 行政支援サービス				
庁内LANを利用したメール配信	月1回	年13回	行政関連の到着図書案内、区の施策・地方自治に関する資料紹介、あるテーマや話題について調べたいときに参考となる資料を紹介したパスファインダーなどの発信を行った。	サービス
5. 企画展示				
ウォール展示の満足度	平均4.0点	平均4.3点	交通新聞社、東洋経済新報社との各出版連携展示、(公社)読書推進運動協議会との連携展示、毎日新聞社と連携したオリンピック展示、コレクション紹介展示(29年4月22日まで開催)の計5回開催し、それぞれ4点以上の満足度を得られた。今年度の展示アンケートでは、いままで手が出なかった本でも展示を見て読んでみたいと思ったなどのコメントが多く、実際にも展示された本の半数以上が貸出された。今後も高い評価を得られるよう工夫をしていきたい。	企画
出張展示	年2回	年4回	三井住友海上、旭化成アマダス、旭化成メディカル、りそな銀行九段下支店(すべて千代田区内)にて実施した。アンケートでは、各社いずれも、本を読むきっかけになった等の意見が寄せられ、本サービスが、忙しくて読書の時間がとれないビジネスパーソンに読書の機会を提供する一助になったと認識した。	企画
6. セミナー・イベント				
セミナー・イベントの満足度	平均4.0点	平均4.6点	目標値を大きく上回る4.6点という結果になった。参加人数も多く、キャンセル待ちの状態になるイベントも複数あった。イベント自体も、講師が専門的な内容をわかりやすく説明するなど今後も満足度の高いイベントを提供していきたい。	企画
セミナー・イベントの開催回数	年10回	年10回	今年は目標どおり10回の開催となったが、数を多く実施することよりも、各企画のコンセプト、テーマに基づいて内容の密度を高めることを重視した。その結果として、おおむね参加者から好評を得たものとする。	企画
7. コレクション関連事業				
コレクションを紹介するレポート等の発行	年2回	年3回	研究会の発表を活かしたレポートを、3回発行した。 第14号:「『御宸筆』と検閲 —高橋義雄『箒のあと』をめぐる—」 第15号:「〈文学のわかる〉検閲官 —佐伯慎一(郁郎)について—」 第16号:「ある検閲官の肖像 —内山鑄之吉の場合—」	企画
内務省委託本研究会	年2回	年2回	第11回(9/6)、第12回(3/11)の2回実施。第11回、第12回それぞれ研究者2人の発表がなされた。28年度は、これまでの研究会の成果が1月からの内務省委託本展示・セミナー企画につながった。今後も研究会を継続して開催し、レポート発行、企画展示につながる活動として位置付けていきたい。	企画

項目	目標値	実績	総括	担当
8. オンライン・ウェブサービス				
Web図書館閲覧件数	月1,900件	21,150件 月平均 1,763件	千代田図書館蔵「内務省委託本」関係資料集、東洋経済新報社、PHP研究所、慶應大学出版会のビジネス書、インプレスのIT、写真に関する実用書、PHP研究所の学習書、ゲーテンベルク21の文学書、新函館ライブラリ、ピクティオ、星の環会の児童書などを受入れた。利用に関しては、千代田図書館蔵「内務省委託本」関係資料集、英語の実用書、東洋経済新報社のビジネス書、PHP研究所の実用書、ビジネス書などの利用が多かった。	サービス
音楽配信サービス	月5,000件	67,109件 月平均 5,592件	ユニバーサル・ミュージックのタイトル数が増加したこと、ナクソスシステムの増強が実施され、性能が向上、安定化したこと、「今週の一枚」「Naxosのおすすめ特設ページ」「推薦タイトル」で利用者が興味を持った楽曲があったことから、昨年度よりも利用が伸び、今年度も目標を達成した。	サービス
9. 学校支援				
図書館だより発行(合計)	年30件	年43件	学校図書館の利用促進に繋がるよう、季節やイベントに応じて内容を検討し、各小・中学校で発行した。中学校では図書委員と協力し作成することで、生徒に学校図書館をより身近な場所として感じてもらえるよう図った。	読書振興センター
ブックリスト作成(合計)	年30件	年52件	季節や年齢に合わせたおすすめの本リストなどを作成し、各支援先で配布した。こども園や保育園では、「園にある蔵書からおすすめの本を紹介してほしい」と依頼を受け、毎月リストを作成、掲示し、保護者への情報発信も積極的に行った。	読書振興センター
イベントを通じた読書活動	年20回	年43回	小中学校での読書週間に関するイベントや、児童館で夏季休業中に行う怖い話のおはなし会などは既に各支援先で定着している。例年継続されているイベントでも新鮮さが感じられるようテーマや内容に工夫を凝らしている。また、昨年度に引き続き読書振興センター主催の「出張読み聞かせ講座」の講師を、新たに「出張ブックトーク講座」の講師をそれぞれ担当した。	読書振興センター
保護者・ボランティア向け支援	年4回	年13回	昨年度同様今年度も幼稚園から保護者向け講座の依頼を多く受けた。また、各児童館からブックスタートのフォローアップとしての講座開催依頼が多く、数値を大きく上回った。	読書振興センター
蔵書構築アドバイス	年30件	年38件	現在全ての学校で蔵書数が学校図書館標準を超えている。利用に役立つ適切な図書館資料を整備し、学校図書館の活性化を図るため、適宜購入アドバイス、廃棄アドバイスを行った。	読書振興センター
パスファインダーの作成	年3件	年3件	昨年度に引き続き、調べ学習で依頼の多いテーマを、小学生版2件と中学生版1件を作成し、各学校図書館に設置、配布した。	読書振興センター

項目	目標値	実績	総括	担当
読書だより 「BOOKTRAIN」・「おはなしトレイン」発行・展示	年2回	年2回	引き続き、夏休みと冬休みの長期休業前に、読書だよりを各支援先で配布した。長期休業中の千代田図書館での展示も継続して行い、多くの利用者に学校支援事業を知ってもらうよい機会となった。掲載した本は人気が高く、特に乳幼児版掲載本は展示前から多くの予約がかかった。	読書振興センター
団体貸出	年200件	年313件	小・中学校では各校で調べ学習が行えるよう蔵書構築を進めつつある。学校で不足している資料や教科書の単元に関連した資料を団体貸出している。幼稚園・子ども園・保育園では、園児が読む絵本の依頼を多く受けた。引き続き、直接支援には行っていない九段中等教育学校からの依頼も受けている。	読書振興センター
10. 読書振興				
子ども・大人向けイベント・セミナー	年4回	年5回	こどもの読書週間には3年目となる5館連携企画「ヨムキクちよだ」を行った。夏休みには恒例の小学生向けイベント「夏のわくわく課外授業」、今年で3回目となる中高生向けイベント「図書館コンシェルジュ一日体験」も行い、昨年度から継続している「出張読み聞かせ講座」も好評を得た。区内の子どもたちを対象としたイベントを中心に読書振興活動を幅広く企画・実施し、区内校との関係性も強化できた年となった。	読書振興センター
読書振興活動者向け講座	年1回	年2回	「出張ビブリオバトル講座」に神田一橋中から申し込みをいただき、国語科の授業に取り入れる形で中学1年生全員に講座を実施することができた。また座談会「絵本のこれまで・これから」は、神田神保町の絵本・児童書専門店「ブックハウス神保町」との共催イベントとして企画し、絵本作家、編集者、書店員に加え、千代田図書館司書が登壇し、出版・図書館関係者の他、幅広い方にご参加いただいた。	読書振興センター
イベント・セミナー・講座等の参加満足度	平均4.0点	平均4.7点	目標を大きく上回ることができた。特に「図書館コンシェルジュ一日体験」は5点満点、「出張読み聞かせ講座」は平均4.9点と、参加者にきめ細やかな対応ができていたということもあり満足度が高かった。	読書振興センター
読書振興・地域振興等のテーマ展示	年2回	年3回	こどもの読書週間および秋の読書週間展示の大型展示に加え、夏休みイベントの報告展示を行った。読書週間には、これまで区内の中学校・高等学校と連携した活動を紹介し、区内校の先生方にも周知した。展示物作成にあたっては近隣校の先生方にもご協力いただき充実した内容となった。	読書振興センター
情報発信(ウェブログ更新等)	月5回	年60回	月5回の記事更新をコンスタントに続け、目標回数を達成した。昨年度から配信している月に1回の「コンシェルジュ通信」は、ファイルに綴じてコンシェルジュブースに設置し、利用者への周知も図った。	読書振興センター

項目	目標値	実績	総括	担当
区内中学・高等学校への情報発信(メルマガ等)	年5回	年5回	区内の希望校へ目標値どおりの回数のメールマガジンを配信した。このメールマガジンをきっかけに私立校から問い合わせをいただくこともあり、図書館と私立校の関係構築に役立っている。	読書振興センター
11. 広報活動・パブリシティ効果				
リリース発行回数	月1回	年20回	館の行事予定により件数にばらつきはあるが、適切なタイミングでリリースを発行し、昨年とほぼ同数である55件のメディア掲出に繋がった。	読書振興センター
12. 街案内				
街案内イベント	年2回	年2回	初回のツアーは、企画展示『『散歩の達人』とともに振り返る千代田の街の20年』との連携イベントとして開催。初めての抽選制とし、定員を大幅に上回る122人からご応募いただいた。過去に雑誌の誌面で紹介されたスポットを巡り好評を得た。2回目のツアーは神田古書店連盟との共催で、神田古本まつりの併催イベントとして開催。東京古書会館でトークイベントを行い、古本まつりで賑わう神保町を巡り、「本の街」神保町を満喫していただくことができた。	読書振興センター
「本と街の案内所見聞調録」発行	年6回	年6回	「本と街の案内所」での対応事例からテーマを選び、図書館利用者が調べものに活用できるツールとして、年6回発行した(Vol.43～48)。「国際交流」を特集した号は、九段中等教育学校から生徒に配布したとの連絡もいただき、充実した情報提供ができた。	読書振興センター
13. 四番町図書館				
一般特集展示(特別展示を含む)	年20回	年16回	基本的には季節感を大切にテーマを決め、小説だけでなく、料理をはじめ、手芸や映画、絵画、スポーツといった実用書なども盛り込み、趣味を始めるきっかけづくりやヒントとなる資料も合わせて展示し、好評を得た。特に、「芸術の秋、美への誘い」では、普段手取りにくい美術書も数多く並べ、小説と併せて楽しんだという人も多かった。猫の日に合わせた2月の展示「猫好きさん！集まれー!!」も人気が高かった。	サービス
児童特集展示	月1回	年20回	毎月ぱっと絵を見て手に取りたくなるような、楽しい季節感のあるテーマを中心にした展示を心掛けた。「しぜんとあそぼう!」や「あきのみりーたべよう、つくろうー」、「こころぽかぽかげんきになあれ」など、呼びかけ型のテーマも好評で、回転率も高かった。また、2か月に1度のいたばしポローニャ子ども絵本館連携展示や、おはなし会に合わせた七夕、クリスマスなどの特集ミニ展示も楽しんでもらった。	サービス

項目	目標値	実績	総括	担当
おはなし会	月5回	年62回	毎週金曜日に行う「きんようびおはなし会」と、毎月第4日曜日に行う「にちようびおはなし会」では、職員と当館で講習を受けた読み聞かせボランティアで実施した。「きんようびおはなし会」の前半は乳児向けの絵本も読むため、赤ちゃんへの読み聞かせに関心を持つ人が増えている。5月の連休や6月～8月にかけては特に参加者が多く、リピーターだけでなく、口コミによる参加も多い。	サービス
セミナー・講座等	年6回	年12回	28年度は読み聞かせボランティアに関心が高い人向けに「読み聞かせ講座」も初級・中級・実践と7講座を実施。そのほかラウンジセミナーとして、夏休みの「しかけ絵本作り」、秋には「夢をかなえる日記の書き方」、「声を重ねて言葉の世界に遊ぶ―群読」といった参加型のイベントも行い、好評を得た。また、恒例となった「コメントコンテスト」を実施。235人の中高生から書評コメントの応募があった。	サービス
職場体験等受け入れ	年6回	年10回	10年研修で番町小学校の教員1人、職場体験は神田一橋中学校2年生2人、九段中等教育学校2年生2人を受け入れた。夏休みには「子ども一日図書館員」で計19人を、秋には番町小学校の「町たんけん隊」を受け入れた。	サービス

(2) 日比谷図書文化館

項 目	目標値	実 績	総 括	担 当
1. 広報・営業部門				
ニュースリリース発信	40件	44件	「特別展」や大ホールで開催する「日比谷カレッジ」の主要講座を中心に、「図書フロア展示」「特別研究室展示」などの各種展示まで館内の各種企画を幅広く発信した。	広報
メディア掲出数 (新聞、電波、雑誌、WEBほか)	150件	172件	二つの特別展と日比谷カレッジを中心に多くの掲出があった。Web、新聞が健闘した。	広報
Web広報発信	50件	51件	紙媒体などの発信と連動しながら、Facebookの即時性を生かし、図書フロアや特別研究室内の各種企画展示の発信を中心に実施した。	広報
日比谷図書文化館および日比谷公園など近隣施設等の情報発信(twitterも含む)	30件	34件	日比谷公園及び近隣の千代田区内の無料催事、季節の見どころなどをピックアップし1Fホールに掲示する等定期的に発信できた。	受付・コンシェルジュ
2. 総務・経理				
研修(マナー、クレーム研修など)	2件	5件	「障がい者差別解消法」の改正、バリアフリーに関する研修のほか、接客研修、ユニバーサルマナーなどの研修を行った。	総務経理
3. 事業企画運営部門				
特別展入場者 「シンデレラの世界展」 4/23～6/22	6,000人	8537人	絵本や雑誌の展示のほかに、映像、復元衣裳、撮影コーナーなどを設け、メディアの露出も多く、親子連れや若い女性層に好評を得た。	ミュージアム
特別展入場者 「江戸からたどるマンガの旅」 9/17～11/16	6,000人	6659人	江戸時代の錦絵から明治、大正、昭和の新聞、雑誌、単行本へと、コンパクトな会場ながらマンガの歴史をたどれる展示として好評を博した。	ミュージアム
特別展示室貸出	2件	3件	日比谷野音のコンサートと連動した「吉田山田展」、アイヌ文化振興・研究推進機構、日本図書館設計家協会の3者に貸出ができた。	ミュージアム
「日比谷カレッジ」満足度 (主催のみ。除く「古文書塾」)	85%以上	90%	企画の厳選、講師との時間をかけた打ち合わせによるテーマ設定などにより高満足度となった。	企画
千代田ミュージアム連絡会参加美術館連携企画 (「展覧会への入り口講座」「ミュージアムツアー」)	6回	3回	区内の美術館との連携を図ったが、区外の美術館との企画実施や、各美術館と企画や開催時期の調整がうまくいかず未達となった。	企画
オリンピック関連講座	2回	5回	新に競技種目となった7人制ラグビーなどに関する講座の他に、開催国ブラジルの音楽文化に関する講座も開催した。	企画
「日比谷カレッジ」情報発信コーナー (1階 旧受付スペース活用)	5回	6回	有田焼、宮澤賢治、バレエ史など大ホールでの日比谷カレッジのほか、特別研究室内の展示と関連カレッジについてもパネル展示し動員に結びつけた。	企画

項 目	目標値	実 績	総 括	担 当
-----	-----	-----	-----	-----

読書活動推進企画	2件	2件	5月には千代田図書館企画の一環として読みきかせ講座を、11月には再読をテーマに本との出会いに関する講座を実施した。	企画
「交流支援室」利用団体	2団体	1団体	「幕末遣欧使節団」を研究するグループへの貸出を行い、壁を隔てた事務室での業務に対する影響や、利用者の使い勝手などを検証した。	企画
特別研究室 企画展示	4回	4回	4回の展示を実施。モーニングセミナーの成果発表を兼ねた『開国五十年史』関連展示と台湾の『火災保険特殊地図』に関する展示が好評を博した。	特別研究室
特別研究室 入室者	9,000人	11,026人	展示企画のオリジナル性が広い関心を呼び、定期的なセミナーの実施や広報との連携もあり目標数に達した。	特別研究室
特別研究席 利用者	5,800人	5,976人	リピーターの漸増とともに、企画展示参観者の利用も多かった。	特別研究室
大・小ホール、会議室 稼働率	65%	64%	上期の稼働率がやや低迷した影響を引きずり、後半は貸出件数も増えたがあと少し目標値には及ばなかった。	ホール

4. 図書部門

貸出冊数	17万5千冊	169,511冊	様々な展示等で本との出会いの機会を演出し貸し出し増を図ったが目標に及ばなかった。	サービス
新規登録者	11,000人	10,443人	下半期に登録数が漸減したが、効果的な対策がとれなかった。	サービス
レファレンス	6,500件	8,474件	「所蔵調査」と「各種案内」が多くを占めた。	サービス
オンライン・データベース席	3,000人	2,621人	今年度もデータベース講座を積極的に開催し利用促進を行ったが未達に終わった。	サービス
パスファインダー作成	4件	4件	写真、図書館、働き方、防災についてのものを作成した。	図書企画
データベースフォローアップ講座開催	10回	10回	昨年同様、利用者が参加しやすい、1日2回（昼、夕方）、事前申込み不要の講座を開催した。	図書企画
図書フロア 企画展示	90件	92件	「ビジネス」「アート」「地域資料」のテーマを基本に、大テーマから時事、時候など話題性に重点を置いたものまで積極的に展開した。	図書企画
オリンピック関連展示	1件	2件	リオ五輪の開催にあわせ、7、8月に展示を実施した。	図書企画
「特別展」関連展示	3件	3件	2階 パープルゾーンの三角展示台をメインに年3回の特別展示にあわせ関連資料の展示を行い、特別展への誘導を図った。	図書企画
情報収集方法のガイダンス	4回	4回	「東京国立近代美術館アートライブラリー」「大宅壮一文庫」など「専門図書館への入口講座」を実施した。	図書企画

5. 維持管理

消防訓練	2回	2回	消防設備点検にあわせ消防訓練、避難訓練、危機管理マニュアルの読み合わせなど2回実施した。	維持管理
------	----	----	--	------

※ 色掛け：未達成